

第4次

糸満市子どもの読書活動

推進計画



令和7年4月

糸満市教育委員会

表紙イラスト（読書体験の連鎖）

作成者 サイトウカナエ 氏（イラストレーター）

プロフィール

1981 年 宮城県仙台市生まれ

2002 年 沖縄県立芸術大学美術工芸学部（絵画専攻）卒業

2005-2011 年 （株）JCC（デザイン・美術担当）勤務

2012 年 糸満海人工房の外壁に壁画を制作

2014 年 フリーランス

2015 年 素材配布サイト「イラスト沖縄」開設

- ◆第2次糸満市子どもの読書活動推進計画（平成27年度～平成31年度）表紙は、読書体験の連鎖をイメージして描かれています。子どもの頃の読書習慣は、次の世代にまでつなげる贈り物ですよというメッセージが込められています。
- ◆第4次糸満市子どもの読書活動推進計画（令和7年度～令和11年度）表紙にも使用させていただいております。

はじめに



読書は、子どもたちが言葉を学び、豊かな感性や考える力を育み、幅広い知識を習得することができ、「生きる力」を養っていくうえで欠くことの出来ないものです。

この度、糸満市教育委員会では、「第4次糸満市子どもの読書活動推進計画」を策定する運びとなりました。これは、国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び沖縄県の「第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画」を踏襲しつつ、本市の実態に即した独自の施策を検討し、子どもたちの読書活動を一層推進するためのものです。

近年、国民の読書習慣は社会の変容に伴い、大きく様変わりしています。デジタル技術の進歩により個人が膨大な情報容易に入手できるようになり、電子書籍の登場はあらゆるジャンルの本を手軽に読む事を可能にしました。一方、一か月にまったく読書をしないとする人の割合、不読率が60%を超えたとの報告が大きな話題となりました。

それは子どもたちを取り巻く環境も同様であり、国や県においても急速な社会のデジタル化や GIGA スクール構想等を踏まえ、デジタル技術を活用した読書の環境整備について言及しています。

新たな媒体による様々な形態の読書が身近な存在となっており、それらに対応した環境整備は重要な課題となっています。一方、旧来の絵本や紙の本での読書も、脳科学の分野からその効能が明らかになってきており、引き続き子どもたちの成長に重要な役割を果たしていく物であると考えられます。

これからの時代においては、成長段階や場面にあわせて「多様な読書」を、バランス良く使い分ける感性と能力が求められています。

糸満市教育委員会は、子どもたちが読書を通じて豊かな心を育み、個々の自己実現に向かって成長していくことを願っており、ブックスタート事業をはじめ、市民や民間事業者と一体となって、子どもたちが健やかに、その能力を伸ばし、成長していける読書環境づくりを目指しています。

本計画推進の為に、市民及び関係者の皆さま方には引き続き、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月

糸満市教育委員会

教育長 屋良 朝俊

目 次

第1章 計画の策定にあたって

1. 読書活動の意義と「子どもの読書活動の推進に関する法律」	1
2. 「第4次糸満市子どもの読書活動推進計画」の概要	2
(1) 計画の目的	2
(2) 計画のテーマ	3
(3) 計画の目標と成果指標	4
(4) 計画の期間	5
(5) 計画の進捗管理と評価	5

第2章 読書が子どもたちに与える影響

1. 子どもの学力と読書の関連性	6
2. 読書に関する経年変化	8

第3章 糸満市における読書・読み聞かせの現状と課題

1. 糸満市の子どもたちの現状と課題	11
(1) 保護者から子どもへの読み聞かせの頻度から見える現状と課題	11
(2) 小中学生における読書の現状と課題	13
2. 子どもたちの読書や読み聞かせを支える環境の現状と課題	23
(1) 教育・保育施設	23
(2) 小中学校	28
(3) 児童センター・放課後児童クラブ	35
(4) 中央図書館	39
(5) 生涯学習課	41

第4章 「第3次糸満市子どもの読書活動推進計画」の達成状況

1. 「第3次糸満市子どもの読書活動推進計画」の達成状況	43
(1) 第3次計画の指標の達成状況	43

第5章 「第4次糸満市子どもの読書活動推進計画」の取組

1. 子どもの読書活動の推進方策	47
(1) 発達段階に応じた取組	47
(2) 乳幼児・小中学生に対して行う取組	48
(3) 今後の取組項目	51

資料編

子どもの読書活動の推進に関する法律	56
文字・活字文化振興法	58
視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律	61
糸満市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱	65

第1章

計画の策定にあたって

第1章 計画の策定にあたって

1. 読書活動の意義と「子どもの読書活動の推進に関する法律」

子どもは、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。また、文学作品に加え、自然科学・社会科学関係の書籍や新聞、図鑑等の資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる探究心や真理を求める態度が培われます。

日本では、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」¹（以下「推進法」という。）が成立しました。推進法は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、国および地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、それに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的としています。基本理念は、以下のようになっています。

子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

以上から、全ての子どもたちが自主的に読書活動を行うには、私たち大人が積極的にその環境を整備しなければならないことがわかります。

¹ 全文は資料編p57をご覧ください。

・文部科学省「子どもの読書活動の推進に関する法律」

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/080617/003.pdf)

2.「第4次糸満市子どもの読書活動推進計画」の概要

(1)計画の目的

**自ら進んで読書を楽しみ、読書に親しみ、
読書を活かすことができる子どもの育成**

「子どもの読書活動の推進に関する法律」における基本理念は、「子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と定められています。

この基本理念にのっとり、国で策定された計画「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、県で策定された計画「第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画～五感で拓く多様な読書～」、そして本市で策定された計画「糸満市総合計画」ならびに「糸満市教育大綱」を基本とし、「第4次糸満市子どもの読書活動推進計画」を策定し、計画の目的を第3次計画と同様、上記のとおり定めます。

また、沖縄県第五次計画の基本方針として、「不読率の低減」「多様な子ども達の読書機会の支援」「デジタル社会をいかした読書環境の充実と活用」「家庭・地域・学校を通じた社会全体での取り組みの推進」が掲げられております。障害のある子、文化的言語的な多様な背景を持つ子や読書が好きではない子等、多様な子どもたちの可能性を引き出すための読書環境の整備が必要であること、子ども達の健康や発達段階等に配慮しつつ、電子書籍等の利用、学校図書館や図書館のDX²の必要性、就学時前の豊かな読書経験が必要なことが示されています。他にも、児童生徒が読書を楽しみ、主体的に本を読むようになるために、「量から質への転換」として、これまでの推進計画で示されてきた「一人当たりの図書貸出冊数」の目標値を第五次推進計画では設定しないこととしています。

本市の第4次推進計画では、これらの県の基本方針に基づきながら策定していきます。

² デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用して図書館のサービス、運営、利用者体験を革新することを指します。

【多様な読書とは】

多様な子ども達の読書活動を推進するため、第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画では多様な読書を次のとおり定義しております。

活字の本を読むことだけではなく、マンガや雑誌、新聞を読んだり、CDやDVD等の資料を見たり聞いたりすることで内容を理解することも含まれます。また、インターネットで調べたり、パンフレットを読んだり見たりすることで内容を理解することも含まれます。さらに、展示されている模型等を観たり、触ったりすることで内容を理解することも含みます。

【図書貸出冊数の目標値について】

沖縄県第四次推進計画

小学校	110冊
中学校	40冊
高等学校	8冊
特別支援学校	70冊

沖縄県第五次推進計画

図書貸出冊数を指標としない

「量」より「質」への転換

第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画より抜粋

(2)計画のテーマ

今こそ読書を通して子どもたちの生きる力を育む

～人生100年時代の読書推進～

第3次計画で作成されたテーマですが、これからの社会を生きる子どもたちを、読書を通して応援するということが含まれており、今回の計画でも本テーマを意識して取り組みを具体化していきます。

(3)計画の目標と成果指標

前述の計画の目的を踏まえ、子どもの対象別に第3次推進計画と同様、以下の目標を定め、計画を推進していきます。

【乳幼児】

目 標	家庭での読み聞かせの定着
成果指標	第2子以上の子どもを持つ保護者が子どもに読み聞かせをする頻度 週2～3回以上 60%

【小学生】

目 標	読書習慣の定着
成果指標	①「読書は好き」と答える児童の割合 75% ②学校の授業以外に、平日、1日当たり 30 分以上読書をしている児童の割合 50% ③学校の授業以外に、平日、全く読書をしない児童の割合 22%以下 ④市中央図書館と連携している学校の割合 100% ⑤ボランティアを活用する学校 100%

【中学生】

目 標	読書時間の確保
成果指標	①「読書は好き」と答える生徒の割合 75% ②学校の授業以外に、平日、1日当たり 30 分以上読書をしている生徒の割合 50% ③学校の授業以外に、平日、全く読書をしない生徒の割合 37%以下 ④市中央図書館と連携している学校の割合 100% ⑤ボランティアを活用する学校 100%

(4)計画の期間

国や県が定める子どもの読書活動に関する諸計画や、本市の上位計画（糸満市総合計画、糸満市教育大綱）を受け、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間を計画期間と設定します。

ただし、社会情勢の変化や、計画の進捗状況等により、計画内容と現状に乖離が見られる場合等には、必要に応じて見直しを行います。

	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
国	第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画							
県	第四次 推進計画	第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画 ～五感で拓く多様な読書～						
市	第5次糸満市総合計画			第6次糸満市総合計画				
	糸満市教育大綱			糸満市教育大綱				
	糸満市教育振興基本計画							
	第3次糸満市 子どもの読書活動推進計画 (R3～R6年度)		第4次糸満市子どもの読書活動推進計画					

(5)計画の進捗管理と評価

本計画を実効性のあるものとして推進するために、読書活動推進の取組の進捗管理と評価について、定期的（毎年度1回程度）に実施します。評価は「糸満市子どもの読書活動推進委員会」にて行い、計画推進の途中で必要があれば見直し等を行うものとしします。

第2章

読書が子どもたちに 与える影響

第2章 読書が子どもたちに与える影響

1. 子どもの学力と読書の関連性

以下は「令和5年度全国学力・学習状況調査¹」に公表されている子どもの学力と読書の関連性についてです。学力との間に一定の関係が見られる項目を抜粋し、教科の正答率とのクロス集計とその分析により分析結果が公表されています。なお、クロス集計については、相関関係がみられるかを分析したものであり、因果関係を示したものではありませんが、

○読書が好きな児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる

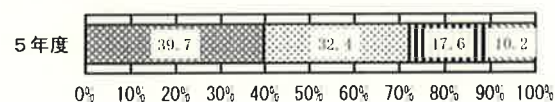
○家にある本の冊数が多い児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られると報告されております。

(1)「読書は好き」と答えた児童の方が、教科の平均正答率が高い傾向

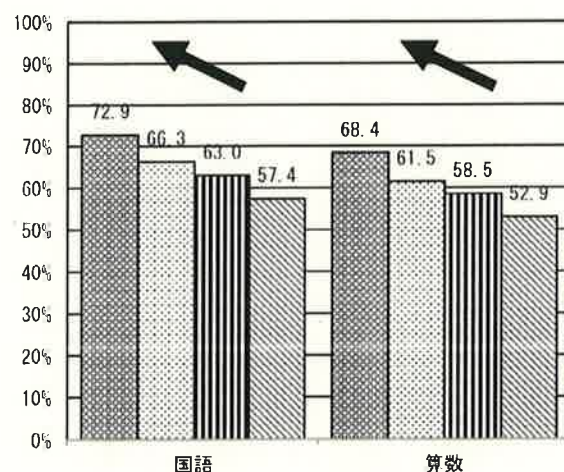
	当てはまる		どちらかといえば、当てはまる		どちらかといえば、当てはまらない
	当てはまらない		その他		無回答

	質問番号	質問事項
小	24	読書は好きですか

【小学校】



(正答率)



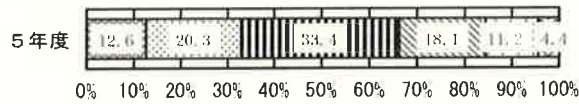
¹ 詳細は以下の URL からご覧ください。

(https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23qn_k.pdf)

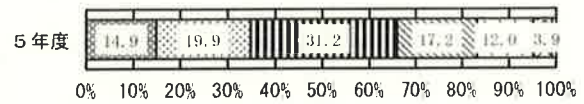
(2)「家にある本の冊数が多い」と答えた児童の方が、教科の平均正答率が高い傾向

0～10冊 101～200冊 その他		11～25冊 201～500冊 無回答	26～100冊 501冊以上
質問番号	質問事項		
小 2 2	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）		
中 2 2	〔（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）〕		

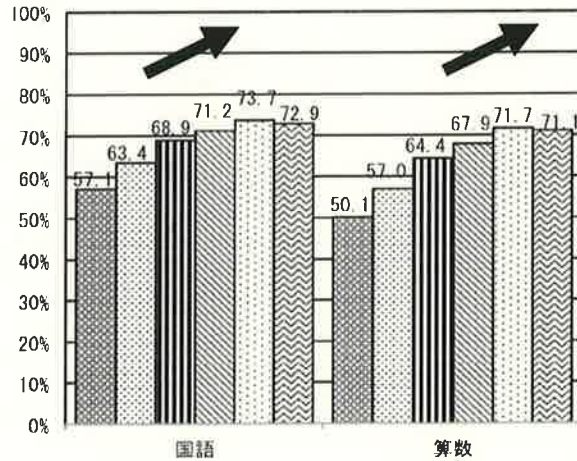
【小学校】



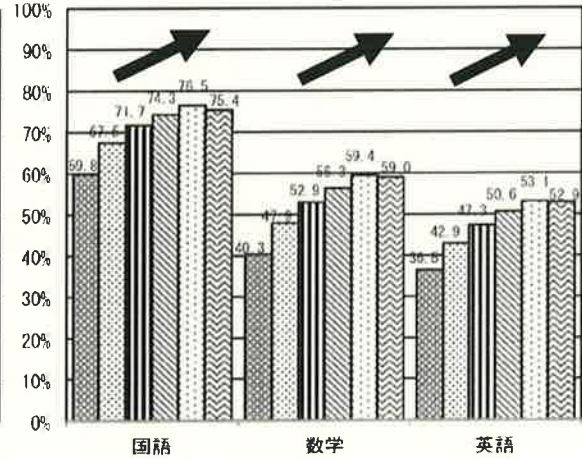
【中学校】



(正答率)



(正答率)



2. 読書に関する経年変化

「平成31年度全国学力・学習状況調査²」にて公表されている学力とのクロス分析の質問項目について、「令和5年度全国学力・学習状況調査³」より経年変化を抜粋しました。それぞれの質問項目の「基準」について、増加・減少等を記載しています。

No.	比較対象	基準	変化	表記
1	前回調査	5ポイント以上増加（減少）している場合	増加 減少	↑ ↓
2	調査開始年度調査 又は 最大9回前の調査	5ポイント以上10ポイント未満、増加（減少）している場合	増加 減少	↗ ↘
3		10ポイント以上増加（減少）している場合	増加 減少	↗↗ ↘↘

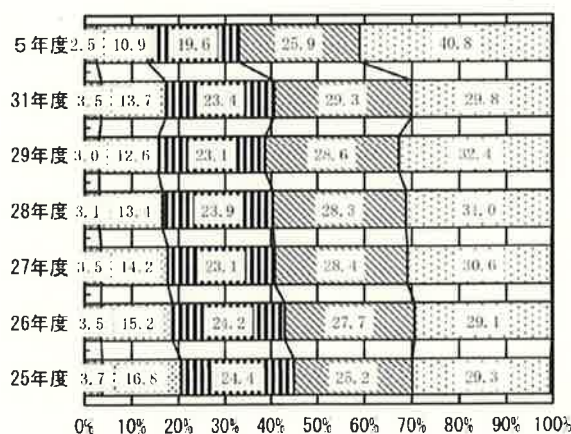
(1) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか。

基準「月に1～3回程度以上」

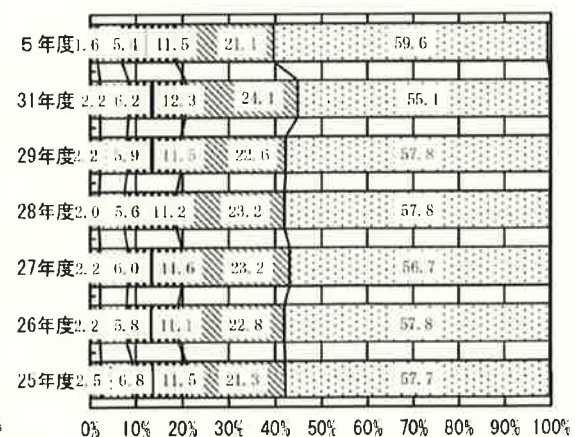
だいたい週に4回以上行く 年に数回程度行く その他	週に1～3回程度行く ほとんど、または、全く行かない 無回答	月に1～3回程度行く
---------------------------------	--------------------------------------	------------

	質問番号	前回の比較	最大9回前の比較	質問事項
小	21	↓	↘	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか
中	21	→	→	

【小学校】



【中学校】



² 詳細は以下の URL からご覧ください。(https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/report/data/19qn.pdf)

³ 詳細は以下の URL からご覧ください。

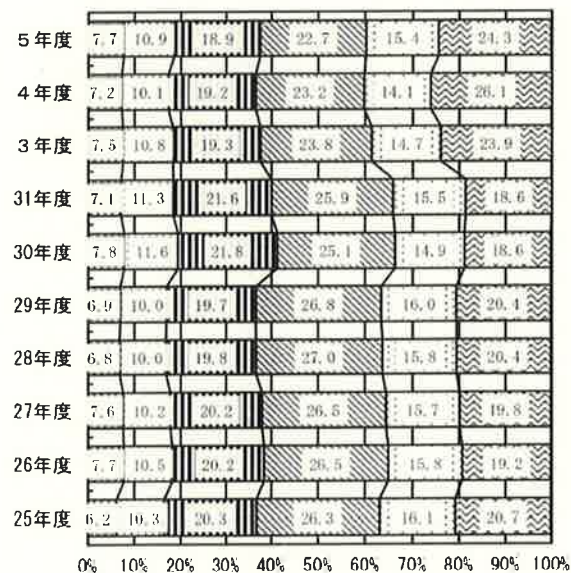
(https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23qn_k.pdf)

経年変化をみると、月に1回以上行くと回答している児童の割合は、小学校においては減少傾向、中学校においては概ね横ばいとなっています。

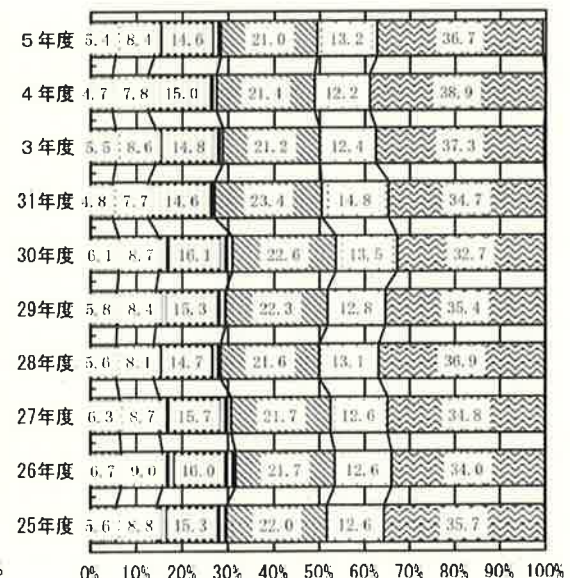
(2) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画雑誌は除く)。 基準「30分以上」

	質問番号	前回の比較	最大9回前の比較	質問事項
小	20	→	→	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)
中	20	→	→	

【小学校】



【中学校】

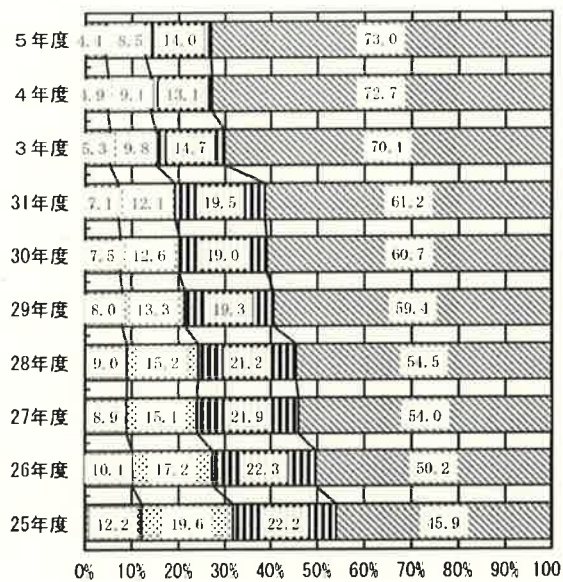


経年変化をみると、小中学校において1日当たり「30分以上読書する」と回答している割合は概ね横ばいとなっており、大きな変化は見られません。

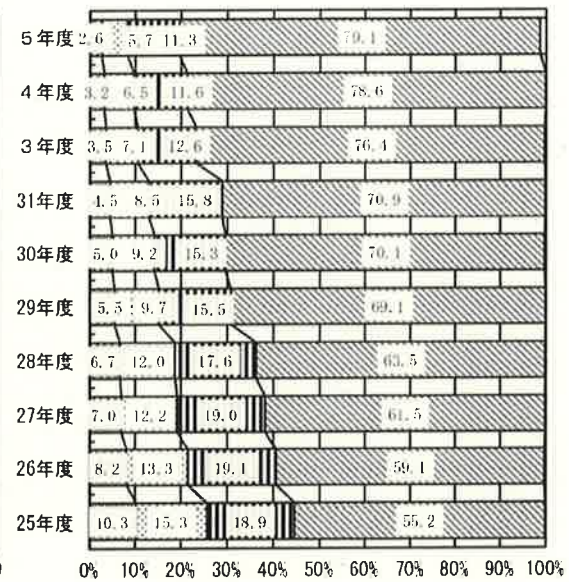
(3)新聞を読んでいますか。基準「月に1～3回程度以上」

ほぼ毎日読んでいる 週に1～3回程度読んでいる 月に1～3回程度読んでいる ほとんど、または、全く読まない その他 無回答			
質問番号	前回の比較	最大9回前の比較	質問事項
小 23	→	↘	新聞を読んでいますか
中 23	→	↘	

【小学校】



【中学校】



経年変化をみると、小中学生とも「月に1～3回程度以上」と新聞を読んでいると回答している児童の割合は、調査開始年度から比べ、減少傾向が伺えます。

これらの項目については、令和5年度調査では学力との間に相関関係が見られておりませんが、平成31年度調査では、教科の平均正答率が高い傾向にあると報告されております。

【参考】

文化庁による令和5年度「国語に関する世論調査」では、1カ月に1冊も本を読まない人が6割を超え、読書離れが進んでいるとしていますが、電子媒体など本以外の活字を読む機会は広がっており、単純に活字離れとは言い切れないとの見方を示しています。併せて、読書は国語力を養う活動の一つでもあり、本に触れる機会を確保するのは重要であるとしています。

第3章

系満市における 読書・読み聞かせの 現状と課題

第3章 糸満市における読書・読み聞かせの現状と課題

1. 糸満市の子どもたちの現状と課題

(1) 保護者から子どもへの読み聞かせの頻度から見える現状と課題

以下は、令和5年度にブックスタート¹に参加した保護者のうち、アンケートに協力した474人が回答したものです。「お子さんに絵本を読んであげる時間を持つようにしていますか」という質問に、「毎日読んでいる」「1週間に週2～3回」「1週間に1回」「1カ月に数回」「読んでいない」の5項目で聞いていますが、これを「とても当てはまる」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の4項目に当てはめると、以下ようになります。

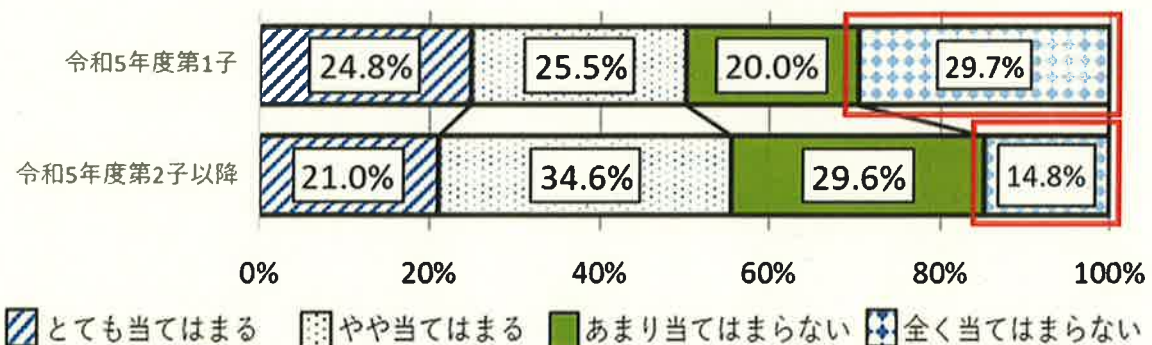
●子どもへの読み聞かせの頻度(令和5年度糸満市ブックスタートアンケートより)

N(対象者数)=553、n(回答数)=503

	とても 当てはまる	やや 当てはまる	あまり 当てはまらない		全く 当てはまらない	合計
	毎日	週2～3回	週1回	月数回	読んでいない	
第1子	41人 24.8%	42人 25.5%	33人 20.0%		49人 29.7%	165人
第2子以降	71人 21.0%	117人 34.6%	100人 29.6%		50人 14.8%	338人
合計	112人 22.3%	159人 31.6%	133人 26.4%		99人 19.7%	503人

子どもへの読み聞かせの頻度（糸満市ブックスタートアンケートより）

令和5年度 N=553、n=503



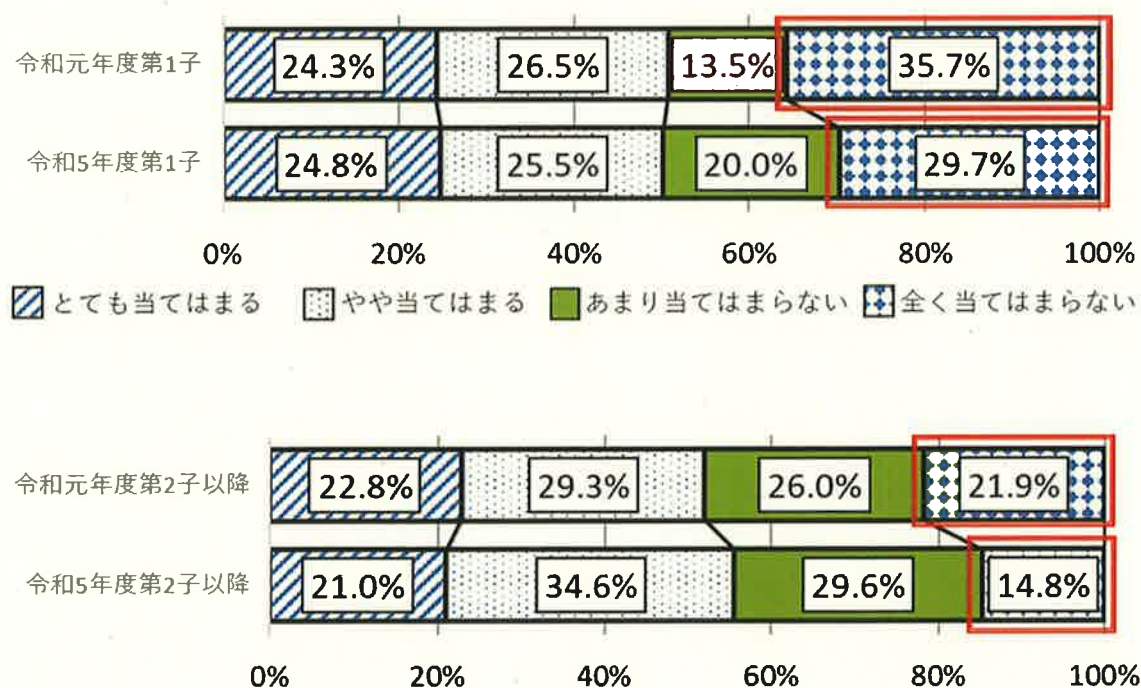
¹ ブックスタートとは、赤ちゃんと絵本を通して楽しさと喜びを分かち合うための活動で、糸満市では平成23年度から実施しています。健康推進課が行う乳幼児健康診査（前期：3～5か月）と同時開催しているため、乳幼児健康診査を受診する保護者全員を対象としています。ブックスタート推進員が絵本を通した子どもとの触れ合い方や読み聞かせの仕方を保護者に伝えた後、5種類の絵本のうちから1冊をプレゼントしています。

第1子を持つ保護者の読み聞かせの頻度と、第2子以上を持つ保護者の読み聞かせの頻度を比較すると、「まったく当てはまらない（読んでいない）」の値が29.7%から14.8%と14.9ポイント低くなっています。このことから第2子以降からは読み聞かせに関心が高まっていると考えられます。

また、第3次計画作成時の令和元年度にブックスタートに参加した保護者アンケートより、令和元年度と令和5年度を比較すると、「まったく当てはまらない（読んでいない）」の値が、第1子で35.7%から29.7%、第2子以降で21.9%から14.8%とそれぞれ低くなっており、以前より若干ながらも読み聞かせに関心を持つ保護者が多くなっていることが考えられます。

子どもへの読み聞かせの比較（糸満市ブックスタートアンケートより）

令和元年度 n=523 令和5年度 n=503



【課題】

ブックスタート会場アンケートでは、「まったく当てはまらない（読んでいない）」と答える保護者の割合は改善していますが、一方、「とても当てはまる」「やや当てはまる」と答える保護者の割合に大きな改善は見られず、「読み聞かせは読書への入り口」であることから、何らかの対策を講じる必要があります。

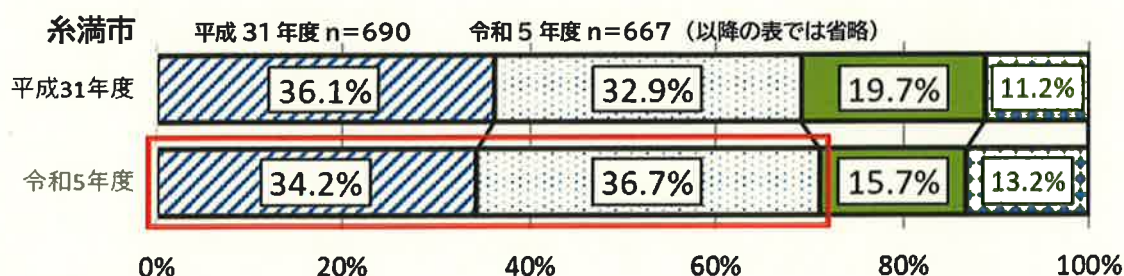
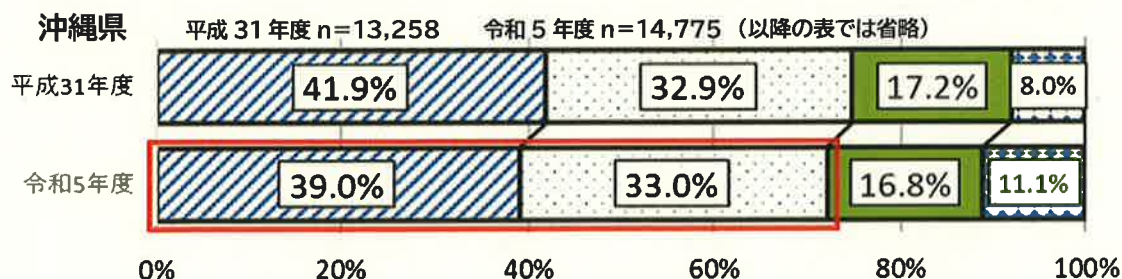
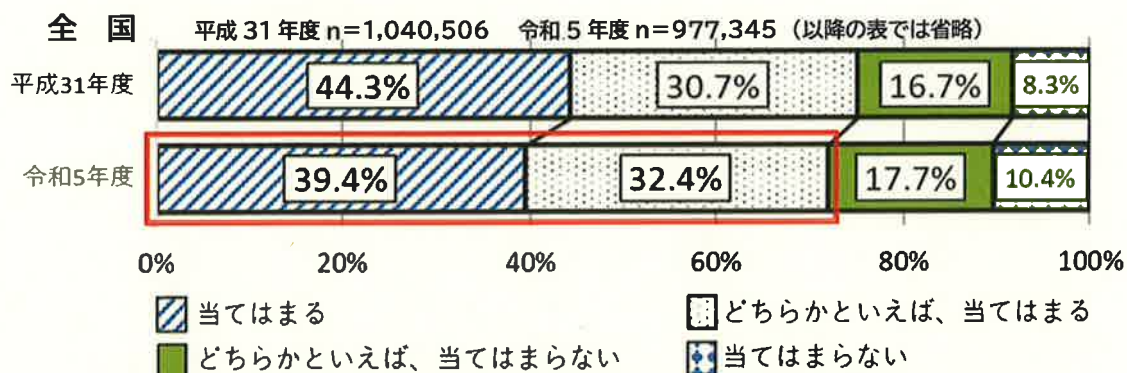
読書習慣の定着のためには成長に応じて継続した読み聞かせ等の支援が必要であることから、令和6年度からブックスタート事業の拡充として、セカンドブックを1歳6カ月児を対象に開始しております。今後も、成長に応じた切れ目のない施策の展開が必要と思われます。

(2)小中学生における読書の現状と課題

小中学生における調査は、小学6年生・中学3年生を対象とした「令和5年度全国学力・学習状況調査²」、及び令和6年12月に糸満市教育委員会で行った小学6年生・中学3年生を対象とした「令和6年度読書に関するアンケート」を参考として、読書の現状と課題を見ていきます。

① 令和5年度全国学力・学習状況調査

ア-(ア)小学生 『読書は好きですか』



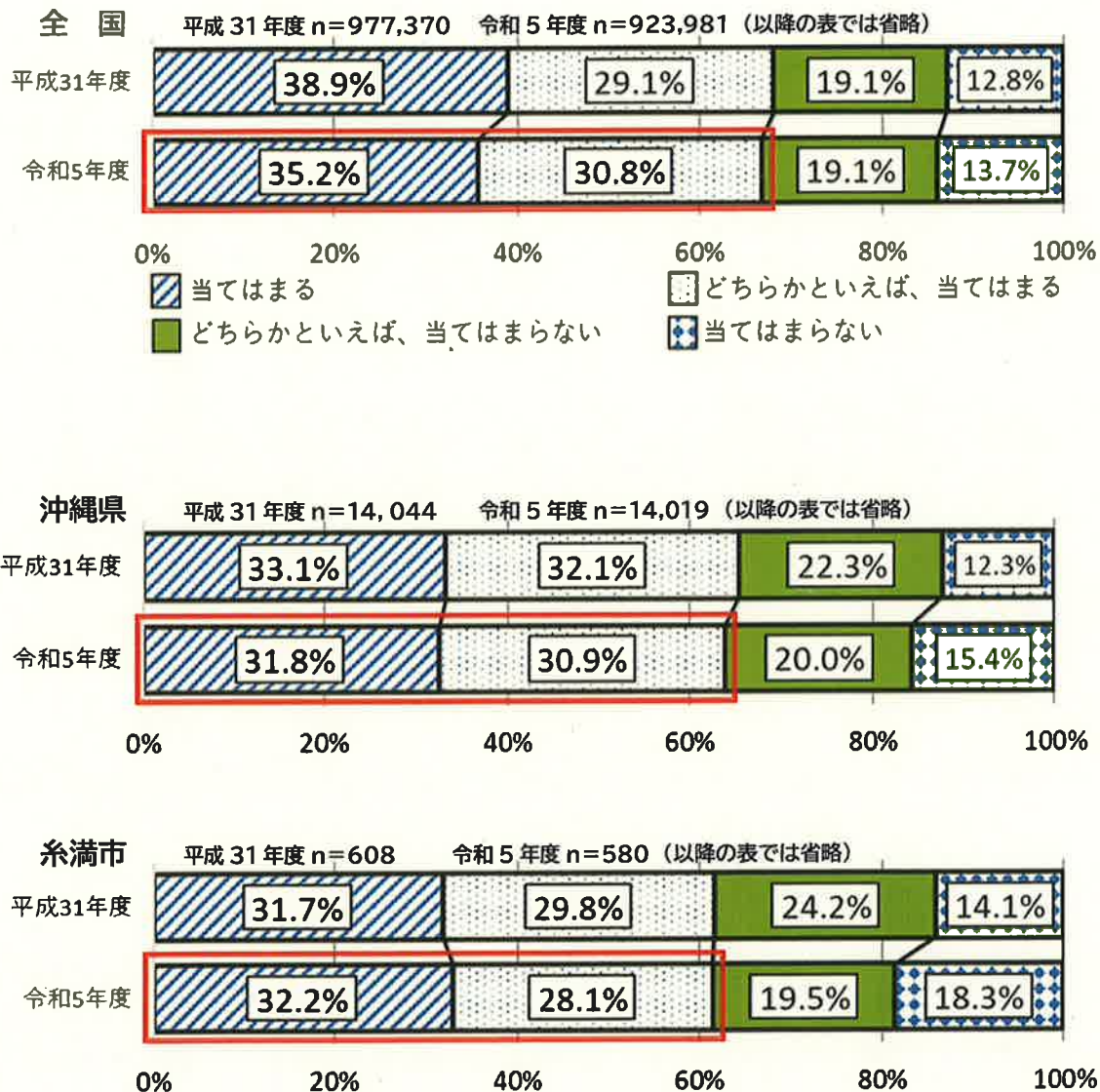
小学生に関して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に答えた割合は、令和5年度、全国平均は71.8%、沖縄県平均は72.0%なのに対し、糸満市は70.9%となっていて、全国平均、沖縄県平均と比較すると若干低い状況となってい

² 詳細は以下の URL からご覧ください。

(https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/factsheet/47_okinawa/index.html)

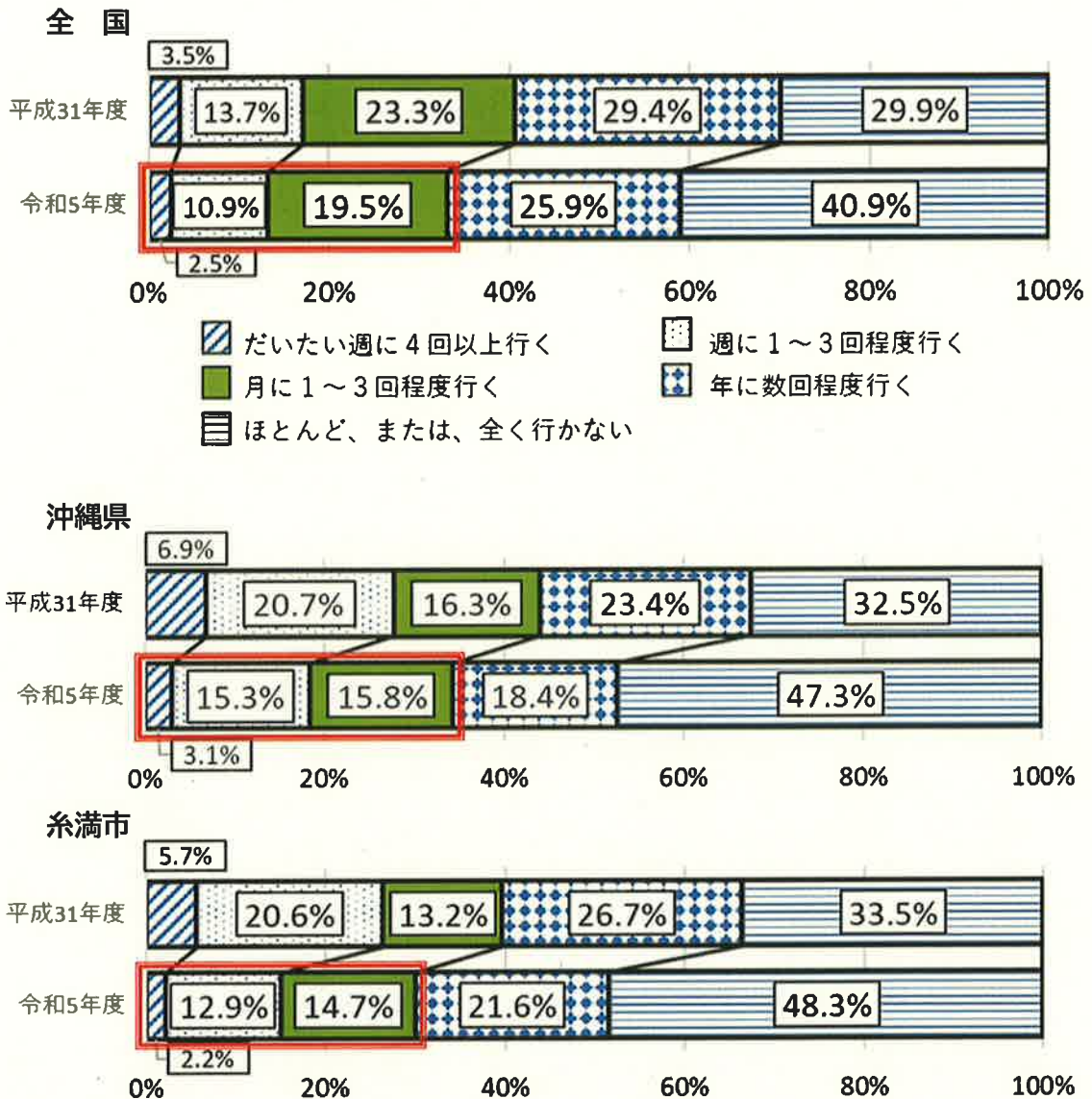
ます。平成31年度調査と比較して、全国的に読書好きが減少している傾向の中で、糸満市においては1.9ポイントと若干ではありますが読書好きが増えています。

ア-(イ)中学生 『読書は好きですか』



中学生に関して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に答えた割合は、令和5年度は、全国平均は66.0%、沖縄県平均は62.7%なのに対し、糸満市は60.3%となっていて、全国平均、沖縄県平均と比較すると若干低い状況となっています。平成31年度の調査と比較しても、肯定的にとらえている割合はこれまでと変わらない状況です。

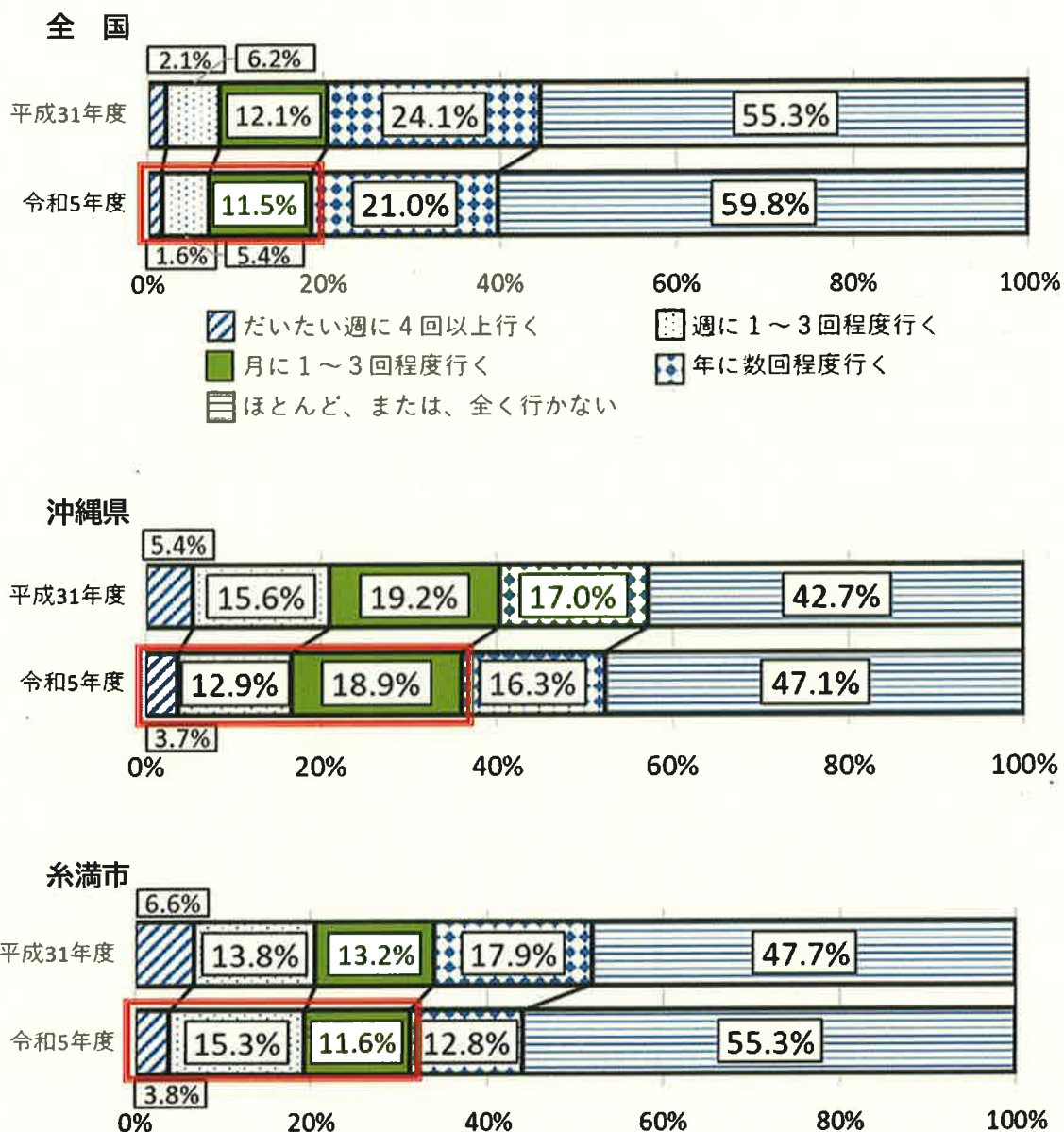
イ-(ア)小学生 『昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか』



小学生に関して、「月1回以上行く³（「だいたい週に4回以上行く」「週に1～3回程度行く」「月に1～3回程度行く」の合計）」と答えた割合は、令和5年度は、全国平均は32.9%、沖縄県平均は34.2%、糸満市は29.8%となっていて、全国平均、沖縄県平均より若干低い状況となっています。平成31年度調査と比較して全国的に図書館へ行く割合が低くなっているのは、コロナ禍によって外出の機会が少なくなったことも考えられますが、糸満市では半数近くは「ほとんど、または、全く行かない」状況となっています。

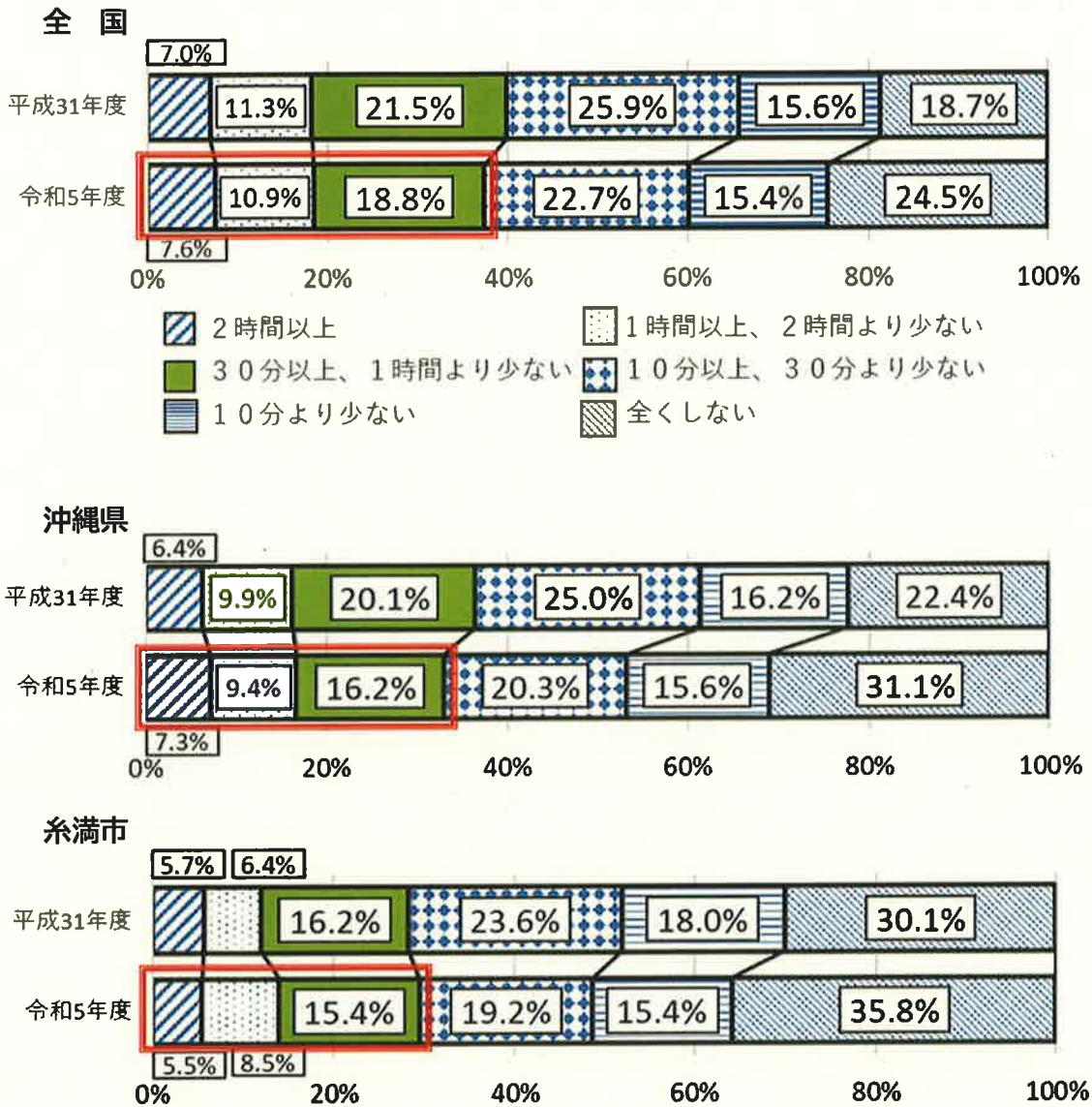
³ 「月1回以上行く」で分析をしているのは、「平成31年度全国学力・学習状況調査」より、「月1回以上学校図書館や地域の図書館を利用している児童の方が教科の平均正答率が高い傾向」とされているためです。

イ-(1)中学生 『昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか』



中学生に関して、「月1回以上行く（同上）」と答えた割合は、令和5年度は、全国平均は18.5%なのに対し、沖縄県平均が35.5%、糸満市は30.7%で全国平均より高い状況です。しかし、小学生と同様、平成31年度調査と比較して図書館へ行く割合は全国的に低くなっており、糸満市でも「ほとんど、または、全く行かない」と答えたのは55.3%で、小学生よりも高い結果になっています。

ウ-(ア)小学生 『学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか』



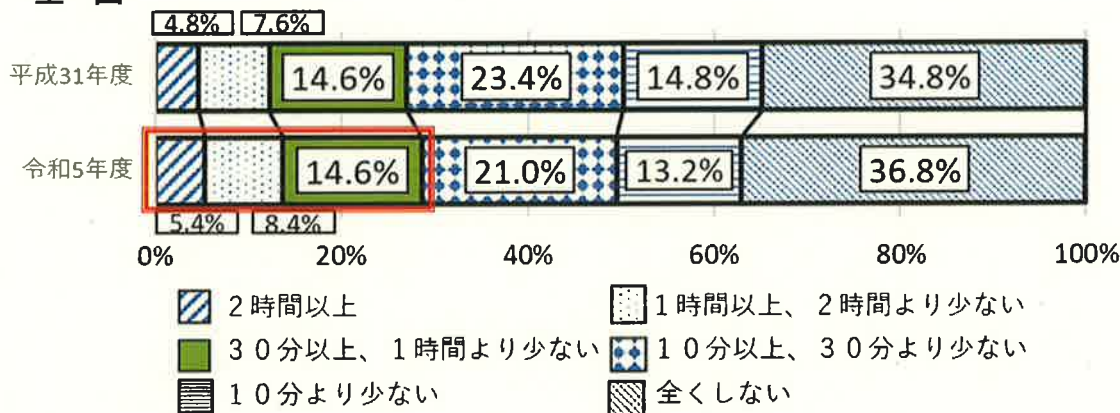
小学生に関して、「30分以上⁴（「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」の合計）」と答えた割合は、令和5年度は、全国平均は37.3%、沖縄県平均は32.9%なのに対し、糸満市は29.4%となっていて、全国平均、沖縄県平均より低い状況となっています。一方、「全くしない（読んでいない）」と答えた割合は、糸満市は35.8%となっていて、全国平均、沖縄県平均より高く、糸満市で

⁴ 「30分以上」で分析をしているのは、「平成31年度全国学力・学習状況調査」より、「30分以上読書をしている児童の方が教科の平均正答率が高い傾向」とされているためです。また、「子供の読書活動の推進等に関する調査研究（平成29年7月5日）」より、「平日の読書時間と意識・行動等に関連性あり」とされていて、図表の区分も「30分以上」「30分未満」「まったくしない」に分けられていたためです。

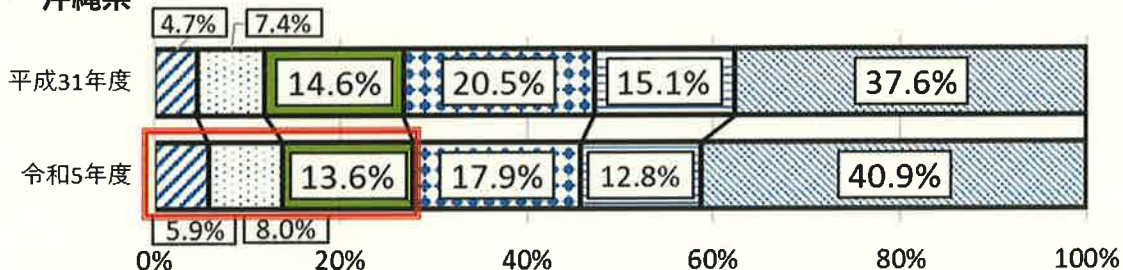
は3人にひとりを読んでいないということになります。平成31年度の調査と比較しても、全国的に「全くしない（読んでいない）」と答えた割合が高くなっており、改善されていないことがわかります。

ウ-(イ)中学生 『学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか』

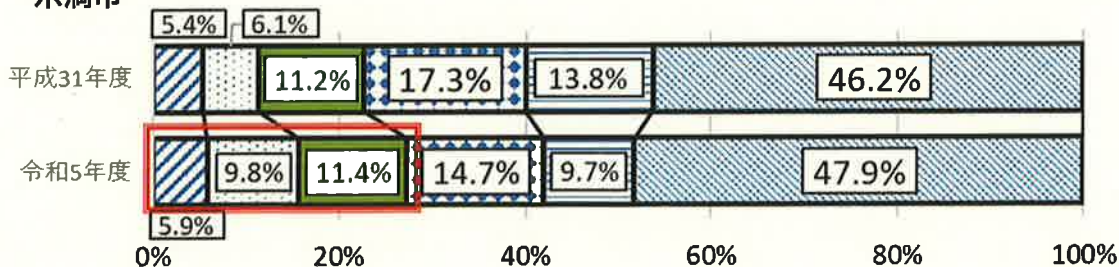
全 国



沖縄県



糸満市



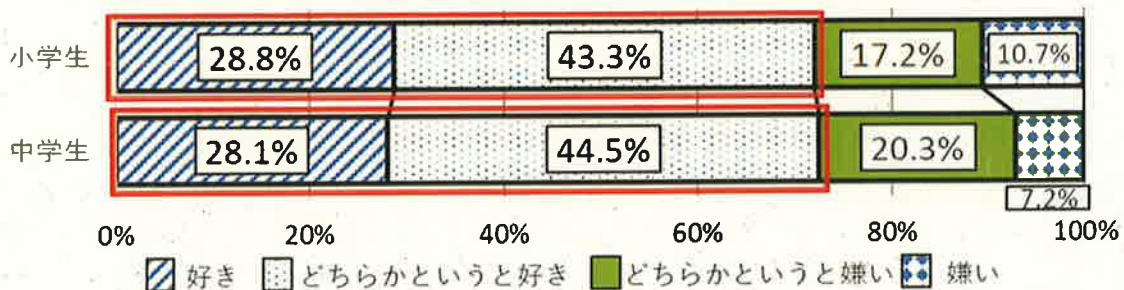
中学生に関して、「30分以上（同上）」と答えた割合は、全国平均は28.4%、沖縄県平均は27.5%、糸満市は27.1%と全国的に低く、同様の傾向がみられます。一方、「全くしない(読んでいない)」と答えた割合は、糸満市は47.9%となっていて、全国平均、

沖縄県平均より高く、全く読まない割合が大きくなっています。糸満市では半数近くは読んでいないということになります。小学生同様、平成31年度の調査と比較しても、全国的に「全くしない(読んでいない)」と答えた割合が高くなっており、改善されていないことがわかります。

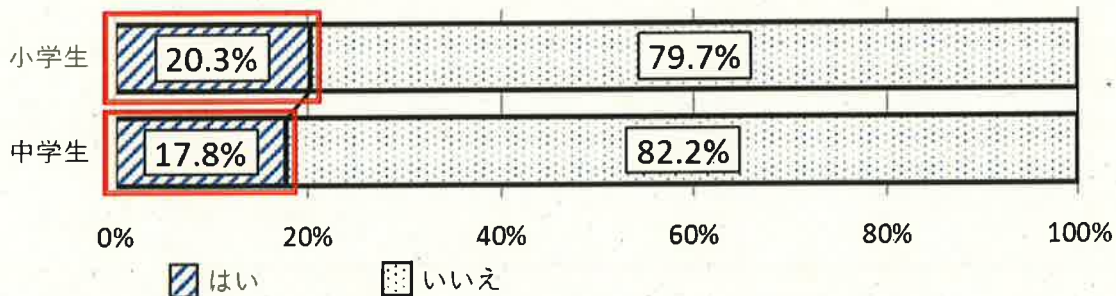
② 令和6年度読書に関するアンケート（糸満市独自調査）

ア『あなたは、本を読むのが好きですか』

小学校 N=726、n=577、中学校 N=695、n=488（以下省略）

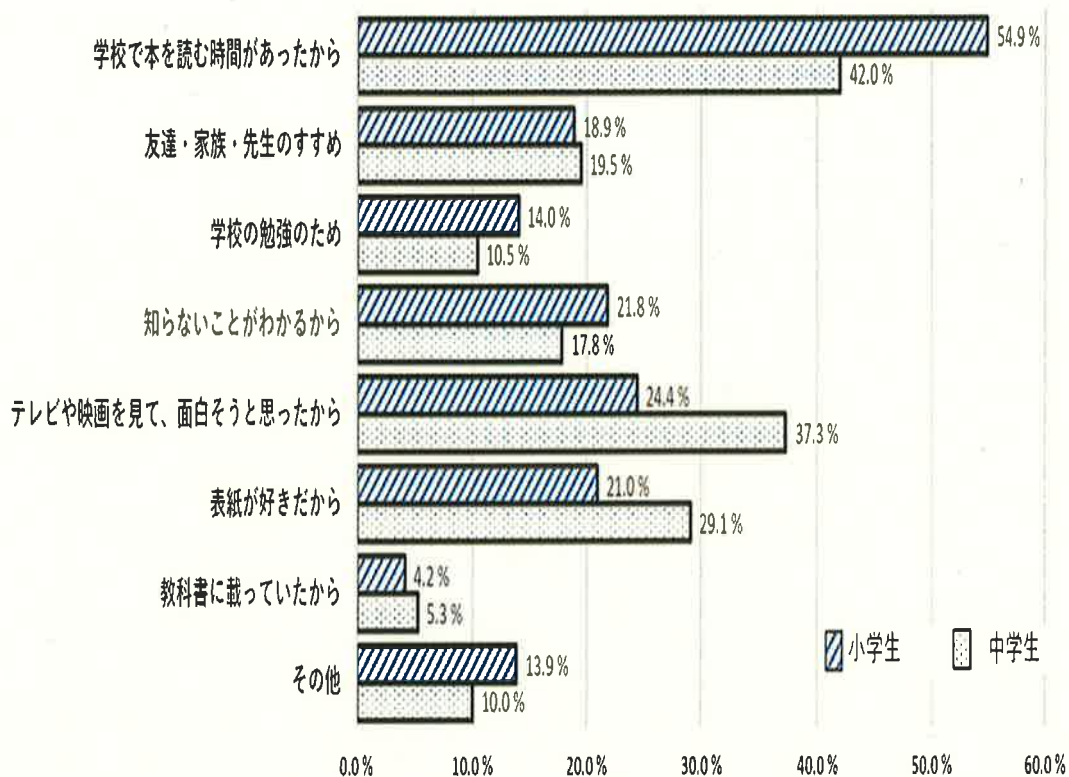


イ『あなたは、一日30分以上、本を読みますか』

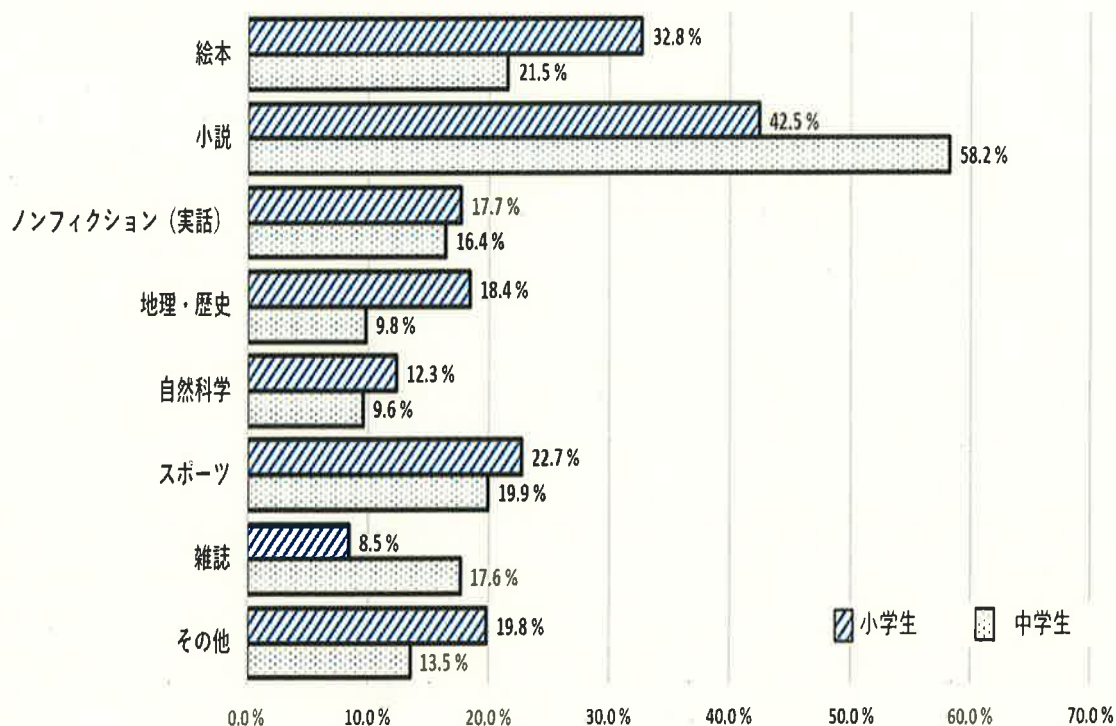


本を読むのが好き（「好き」「どちらかという好き」）と答えた割合は、小中学生とも70%を上回り比較的多く感じられますが、一日30分以上読むと答えたのは20%程度で、十分な読書時間は確保できていない結果となっています。

ウ 『あなたが本を読むきっかけは何ですか。3 つまで選んでください。』

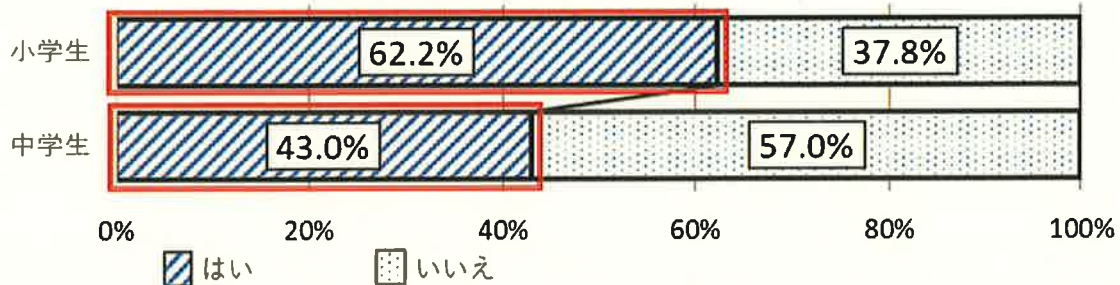


エ 『あなたはどんな本が好きですか。3 つまで選んでください』



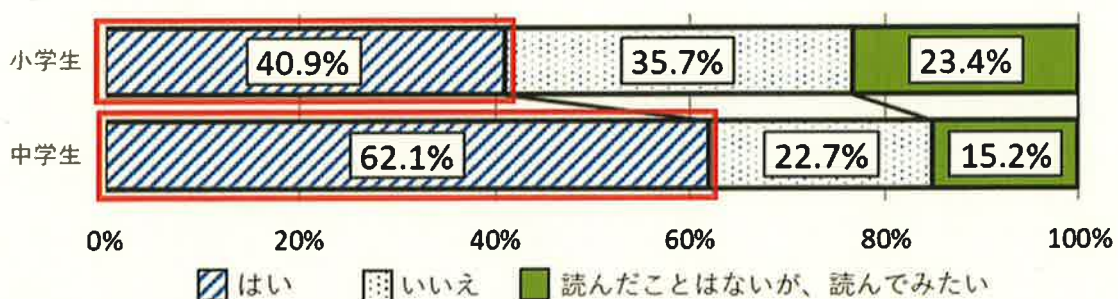
本を読むきっかけは、「学校で本を読む時間があったから」が全体的に多い結果でした。学校での読み聞かせの時間は本を読む習慣に繋がる可能性があります。好きな本については、小説や絵本が好きという回答が多くありました。その他の意見の中には漫画が好きという意見も多く、学習漫画が本を読むきっかけという回答もありました。県は多様な子ども達の読書活動を推進するため、多様な読書の推進を定義しており、漫画等も含めた幅広い媒体からの読書のきっかけづくりが求められています。

オ 『あなたは、課題図書を読んだことがありますか』



小学生は半数以上が課題図書を読んだことがあると答えていますが、中学生においては半数以下という結果でした。課題図書はその学年の児童の成長や発達、学習に適した内容の本となるので、多くの児童生徒が読むことが望まれます。

カ 『あなたは、電子書籍(タブレットやスマートフォンなどの携帯、パソコンで読むことのできるデジタルデータ化された本)を読んだことがありますか』



中学生は年齢的にスマートフォンを持っている割合が多いと推測され、電子書籍を読んだことがあると答えた割合は、半数以上でした。小学生は半数には届きませんが、「読んだことはないが読んでみたい」と答えた児童も多く、タブレット等も活用しながら電子書籍を読める環境づくりも必要です。

【課題】

- ① 「読書が好き」と答える児童生徒の割合は全国平均・沖縄県平均・糸満市平均において大差はないですが、読書が好きな児童生徒を増やすために、関係機関が連携して取り組む必要があります。
- ② 学校図書館や地域の図書館を訪れる割合は減少しており、コロナ禍の影響も考えられますが、学校の授業時間以外にも本を読まないと答えた割合は小中学生とも高い結果となっていることから、引き続き読書習慣を定着させるための取組が継続して必要です。
- ③ 学校で本を読む時間を確保することで、本を読む習慣に繋がる可能性があります。それぞれの学年に適した本や電子書籍等を充実させることにより、児童生徒が限られた時間でも気軽に読書ができる環境を整備する必要があります。

2. 子どもたちの読書や読み聞かせを支える環境の現状と課題

(1) 教育・保育施設

教育・保育施設については、令和6年10月に糸満市教育委員会で行った保育園・こども園等における「子どもの読書活動推進に関する調査」を参考として、読書の現状と課題を見ていきます。

《回答率》

(施設数)

種別	公 立 ⁵				私 立										認可外保育施設		全 体	
	認定こども園		子育て支援施設		認可保育所 ⁶		認定こども園		小規模保育事業所		幼稚園		子育て支援施設		H31	R5	H31	R5
	H31	R5	H31	R5	H31	R5	H31	R5	H31	R5	H31	R5	H31	R5				
全体	5	3	3	2	14	13	12	15	14	16	1	1	0	1	4	7	53	58
回答	5	3	3	2	10	13	11	15	6	16	1	1	0	1	2	7	38	58
回答率	100%	100%	100%	100%	71%	100%	92%	100%	43%	100%	100%	100%	—	100%	50%	100%	72%	100%

① 児童書(絵本含む)の蔵書状況について教えてください。

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31年度	R5年度	H31年度	R5年度	H31年度	R5年度
1,000冊以上	3	1	5	10	1	0
501～999冊	1	1	13	6	0	1
500冊以下	4	3	10	30	1	6
計	8/8	5/5	28/41	46/46	2/4	7/7

② 児童書(絵本含む)の状態について教えてください。

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31年度	R5年度	H31年度	R5年度	H31年度	R5年度
新しい絵本が多い	0	0	7	3	2	2
古い絵本や修繕をした絵本が多少ある	7	1	17	35	0	5
古い絵本や修繕をした絵本が多い	1	4	4	8	0	0
計	8/8	5/5	28/41	46/46	2/4	7/7

ほとんどの施設において、児童書(絵本含む)の老朽化が顕著となっています。

⁵ 公立の施設について、認定こども園【H31】真壁、喜屋武、兼城、糸満南、西崎、【R5】真壁、喜屋武、糸満南(兼城、西崎については、令和6年度調査時点では私立へ移行しており除外)。子育て支援施設【H31】ぬくぬく、ぽかぽか、まかべ、【R5】ぽかぽか、まかべ(ぬくぬくについては、令和6年度調査時点では私立へ移行しており除外)。

⁶ 認可保育所について、【R5】分園の2園は除く。

③ 児童書(絵本含む)の貸出を行っていましたか。

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
は い	7	5	9	13	1	3
い い え	1	0	19	33	1	4
計	8/8	5/5	28/41	46/46	2/4	7/7

ア また、どれくらいの方が利用していましたか。(複数回答)

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
保護者	全 員(2) 4～6 割(1) 1～3 割(5)	全 員(1) 4～6 割(2)	全 員(2) 7～9 割(1) 4～6 割(1) 1～3 割(5)	全 員(2) 1～3 割(4)	全 員(1)	1～3 割(3)
児 童	—	全 員(3)	—	全 員(3) 7～9 割(2) 4～6 割(2) 1～3 割(4)	—	全 員(1) 1～3 割(2)

保護者や児童への児童書(絵本含む)の貸出は、対象は異なりますが公立では全ての施設で行われています。私立や認可外保育施設では貸出を行っていない施設も多く見受けられます。

④ 読み聞かせの状況について教えてください。

ア 読み聞かせをしていましたか。

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
は い	8	5	28	46	2	7
い い え	0	0	0	0	0	0
計	8/8	5/5	28/41	46/46	2/4	7/7

イ また、どのくらいの頻度で行っていましたか。

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
毎 日	—	5	—	43	—	6
週に複数回	—	0	—	3	—	1
週に 1 回	—	0	—	0	—	0
月に数回	—	0	—	0	—	0
そ の 他	—	0	—	0	—	0
計	—	5/5	—	46/46	—	7/7

ウ 誰が読み聞かせをしていましたか。(複数回答可)

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
職 員	5	5	28	46	2	7
ボランティア	3	2	6	4	0	0
そ の 他	3	0	3	2	0	0

すべての施設で職員による読み聞かせが行われていました。他にも小中学生や実習生、職員の友人や地域の方々といったボランティアの方による読み聞かせも行われている事例もあります。

⑤ 保護者に対して、以下の取組を行っていましたか (複数回答可)。

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
読み聞かせに関する研修会等の実施	3	2	3	3	1	0
園だより等に絵本の紹介や読み聞かせの大切さ等を盛り込む	6	1	19	27	1	3
そ の 他 取 組	0	4	7	11	1	1
特段行っていない	1	0	7	10	0	4

公立では、研修会等の実施や園だより以外にも、絵本の講演会や図書館でのイベントの周知等も行われていました。私立や認可外保育施設では、親子読み聞かせの実演や保護者による読み聞かせも行われていました。「好きな絵本等を保護者へ伝え、就寝前の絵本の読み聞かせ等を勧めている」「毎月個人で一冊購入して月末に持ち帰ってもらう」等、いろいろな工夫がされているようです。

⑥ 中央図書館と以下の連携を行っていましたか。(複数回答可)

(施設数)

	公 立		私 立		認可外保育施設	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
団 体 貸 出	1	1	9	8	0	4
そ の 他 連 携	1	3	1	3	0	1
特段行っていない	6	2	18	36	2	3

中央図書館の団体貸出を利用している施設もありますが、連携を特段行っていないと答えた施設が多い結果となりました。中央図書館見学ツアーの事例もありましたが、より連携を検討する必要があると思われます。

⑦ 利用園児への読み聞かせの環境がさらに良くなるために、糸満市に要望すること
はありますか。（複数回答可）

公立

①財政的支援

- ・子どもたちにいろいろな絵本と出会い、好きな絵本を楽しめるようにしたい。
- ・絵本を購入のための予算が足りない。
- ・古くなって修繕している本も多い。

②中央図書館との連携強化

- ・移動図書館くろしお号の巡回により、いろいろな絵本を読んでもらうことができる。

③イベント・研修等の支援

- ・子育て世帯を対象に親しむイベント（読み聞かせ以外）。

私立・認可外保育施設

①財政的支援

- ・絵本や紙芝居等の寄付。
- ・絵本コーナーの環境整備に係る予算や補助等があると良い。
- ・絵本は意外と高額なので、購入のための補助。
- ・小学校の読み聞かせ組織への支援。

②中央図書館との連携強化

- ・園児が多く送迎が困難なため、市所有のマイクロバスを活用して図書館利用を行いたい。
- ・保育園で毎日の読み聞かせを行うことで児童の絵本への興味関心は高くなる。中央図書館の絵本を年に1～2回程度でも、保育園内で貸し出しを行いたい。
- ・移動図書館くろしお号の定期的な巡回。
- ・お迎えの時間等を利用し移動図書館くろしお号を敷地内で実施することで、絵本に親しむことができるようになる。
- ・市の管理のもと、図書館職員やボランティアの方を派遣し、読み聞かせ等に来園して欲しい。
- ・中央図書館での催しに園から出向いて参加することが難しいので、園の方に来ていただけるような取り組み（お話し会等）があれば、子ども達の経験の場が広がると思う。
- ・低月齢児、低年齢児へのおすすめの絵本、利用方法のアドバイス（購入の参考にしたい）。
- ・園児が園単位で図書館に行くイベントや企画を行って欲しい。

③ボランティア等

- ・市が主催して研修会を持ったり、読み聞かせボランティアを募り、保育園等と協力すると、保護者の読書に対する意識が高くなると思う。
- ・読み聞かせボランティアの派遣。園児も新鮮さがあり、職員も読み聞かせ方法を学べる。
- ・職員や保護者向けに読み聞かせの研修(読み聞かせ養成講座)や、園内で講演会を開催する時の講師の紹介・斡旋等。
- ・読み聞かせボランティアを増やし、保育園へも足を運べる体制をとって欲しい。
- ・家庭や書店で見かける機会が少ないせいか、紙芝居に興味を示す子も多く、多様な読書に親しめる取組の機会を提供してほしい。
- ・ボランティアによる出張読み聞かせ(保護者の読み聞かせだと親を求めて泣く姿がみられる)。

④その他

- ・スマホ等の普及により子ども達が絵本よりも動画を好む傾向にあるため、絵本の楽しさや想像することの面白さをもっと伝えられるような新しい取り組みがあってもよい。
- ・絵本のひろばやブックスタート事業等、力を入れていて素晴らしいことだと思うが、その情報を上手くキャッチできるか、格差がある。周知方法の検討。
- ・健診で絵本が頂けるのはとても喜ばれている。以前に比べ、「お家で何して遊んでいるのか」の問いに、絵本や図鑑が好きでみています」の声が増えているように感じる。
- ・地域のコミュニティーに小さな図書館があればと思う。公民館等を利用。
- ・小学校や幼児施設の読み聞かせ組織が一堂に会するイベントや交流機会。
- ・小学校1年生の保護者を読み聞かせ参加に促すような取組。
- ・幼児施設単位で読み聞かせ参加が出来る取り組み。
- ・沖縄県子ども読書指導員の活用。
- ・本市出身の絵本環境アドバイザー等による定期的な講話・読み聞かせ講座等の実施。
- ・読み聞かせの指導等で、園へ専門の方を派遣して欲しい。

現在、読み聞かせボランティア講座等の開催を行っていますが、さらなる支援の拡充が求められています。ボランティア人材にも限りがあることから、各施設自身での取り組みも望まれます。講座開催の周知も含めて、市で行っているイベント(絵本のひろば&子どもげきじょう等)についても、施設のメーリングリストやSNS等を活用して新たな周知活動が必要と思われます。施設等においても、保護者まで伝わるよう周知の徹底をする必要があります。

また、移動図書館くろしお号の巡回の要望は多くありますが、巡回箇所には限りがあることから、効果的なステーションの選定を引き続き検討していく考えです。他にも、絵本等の確保が困難との意見を踏まえ、現在実施している小中学校、こども園、放課後児童クラブ等を対象として、寄贈された絵本や児童書を譲渡するブックリサイクルを継続して行っています。

【課題】

- ① 絵本の整備状況を改善するためにも、所管課、関係課において、絵本の購入財源確保の検討が必要です。
- ② 保護者に対し、子どもへの読み聞かせがいかに良いかを伝える取組が必要です。
- ③ 読み聞かせボランティアについて、より多くの施設で実施できる仕組みづくりが必要ですが、それぞれの施設においての自主的な取組も望まれます。
- ④ 講座やイベント等の周知方法の強化が必要です。
- ⑤ 団体貸出やブックリサイクルを含めた、中央図書館との連携強化が必要です。
- ⑥ 移動図書館くろしお号の効果的なステーション配置は継続して必要です。

(2)小中学校

小中学校については、令和6年10月に糸満市教育委員会で行った「子どもの読書活動推進に関する調査⁷」を参考として、読書の現状と課題を見ていきます。

① 読書指導の状況について教えてください。

ア 「1年間の読書冊数」の目標を定めていましたか。

小学校（6年生）		（学校数）		中学校（3年生）		（学校数）	
	H31年度	R5年度		H31年度	R5年度		
はい	9	7	はい	6	6		
90冊	2	2	45冊	1	1		
80冊	3	2	40冊	4	4		
70冊	3	1	15冊	1	1		
60冊	0	2	いいえ	0	0		
20冊(学年指定図書)	1	0					
いいえ	1	3					

一年間の目標読書冊数について差はありますが、ほとんどの学校で定められています。中学校に比べて、小学校の目標冊数が多い傾向にあるようです。

【参考】

第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画の基本方針では、児童生徒が多く本を読むことよりも、まずは読書を楽しむ、好きになる取り組みが重要としています。主体的に本を読むようになるために、「量から質への転換」を図る必要があるとし、第五次推進計画では「一人あたりの図書貸出冊数」の目標値を設定しないこととしています。

⁷ アンケート調査の対象の学年は、「全国学力・学習状況調査」と合わせて、小学6年生と中学3年生としています。

② 学校図書館の整備状況について教えてください。

ア 学校図書館の蔵書数について教えてください(令和6年3月31日時点)。

小学校 (10校)

図書館図書標準冊数は、各年5月1日現在の学級数にて試算

学校名	H31年度			R5年度		
	蔵書数	図書館図書標準冊数 ⁸	達成率	蔵書数	図書館図書標準冊数	達成率
兼城小学校	12,737	12,760	99.8%	15,542	13,000	119.6%
糸満小学校	11,829	10,760	109.9%	11,685	11,160	104.7%
糸満南小学校	14,267	12,360	115.4%	15,656	13,600	115.1%
高嶺小学校	8,217	8,760	93.8%	10,000	9,160	109.2%
真壁小学校	7,704	6,040	127.6%	8,000	6,520	122.7%
喜屋武小学校	6,526	6,520	100.1%	6,887	6,520	105.6%
米須小学校	7,783	6,040	128.9%	8,346	8,360	99.8%
西崎小学校	15,224	12,760	119.3%	15,000	12,760	117.6%
潮平小学校	18,243	12,560	145.3%	15,982	12,360	129.3%
光洋小学校	12,368	10,760	114.9%	12,659	11,160	113.4%

●米須小学校大度分校は、令和5年度蔵書数300冊。

中学校 (6校)

図書館図書標準冊数は、各年5月1日現在の学級数にて試算

学校名	H31年度			R5年度		
	蔵書数	図書館図書標準冊数	達成率	蔵書数	図書館図書標準冊数	達成率
兼城中学校	11,484	10,160	113.0%	11,863	10,720	110.7%
糸満中学校	11,515	13,600	84.7%	13,221	15,200	87.0%
高嶺中学校	9,496	7,920	119.9%	9,436	9,040	104.4%
三和中学校	9,964	8,480	117.5%	8,670	10,160	85.3%
西崎中学校	12,468	11,680	106.8%	14,220	14,880	95.6%
潮平中学校	9,208	10,160	90.6%	10,000	11,200	89.3%

●三和中学校大度分校は、令和5年度蔵書数200冊。

⁸ 公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年3月に定められたものです。詳細は以下のURLからご確認ください。(https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm)

イ 児童生徒が読書を楽しむのに十分な本(物語)はそろっていると思いますか。

小学校(大度分校含む)

(学校数)

とてもそう思う	1
ややそう思う	4
あまりそう思わない	5
本は多いが古いため/本は新しいが少ないため	
全くそう思わない	1
本は新しいが少ないため	

中学校(大度分校含む)

(学校数)

とてもそう思う	0
ややそう思う	6
あまりそう思わない	0
全くそう思わない	1
図書館がなく、書庫スペースが限られている	

ウ 児童生徒が授業で活用できる本や資料等は十分にそろっていると思いますか。

小学校(大度分校含む)

(学校数)

とてもそう思う	0
ややそう思う	4
あまりそう思わない	7
本は多いが古いため/本は新しいが少ないため/本が古く少ないため/一つのテーマをクラス単位で補える数は無い/予算が限られており、本の種類を十分に揃えられない	
全くそう思わない	0

中学校(大度分校含む)

(学校数)

とてもそう思う	0
ややそう思う	6
あまりそう思わない	1
スペースに限りがあり、十分な量の図書が保管できない	
全くそう思わない	0

エ 図書館の読書・学習スペースは、十分足りていると思いますか。

小学校

(学校数)

とてもそう思う	2
ややそう思う	6
あまりそう思わない	1
児童数に対して、図書館の座席が足りない	
全くそう思わない	1
学校規模・児童数に対して広さが足りない	

中学校

(学校数)

とてもそう思う	0
ややそう思う	5
あまりそう思わない	1
学級の人数が増えたため、学習スペースが狭い	
全くそう思わない	0

●大度分校は図書館がなく、図書コーナーのみで、図書を保管する場所がない。

学校図書館の整備状況について、学校図書館の蔵書数に関しては、学校図書館図書標準冊数を満たしている学校は小学校で10校中9校、中学校で6校中2校でした。

しかし、本や資料の充実度について、「児童生徒が読書を楽しむのに十分な本（物語）はそろっていると思うか」「児童生徒が授業で活用できる本や資料等は十分にそろっていると思うか」の設問については、「足りていない（あまりそう思わない/全くそう思わない）」と否定的に答えた学校は、小学校で半数以上でした。蔵書数が多くても、目的にあった図書が保管されているかの内容についての吟味も必要です。

また、図書館の読書・学習スペースについては、学習スペースとして図書室が狭く、学習用テーブル等も不足しており「足りていない（あまりそう思わない/全くそう思わない）」と答えた学校もありました。

③ 読書推進に関する体制について教えてください。

ア 図書館利用計画等を実施するにあたり、どなたがリーダー的役割を担っていますか。(複数回答可) (学校数)

	小学校		中学校	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
管 理 職	1	0	1	0
司 書 教 諭	2	4	1	0
図 書 館 主 任	7	10	5	5
学 校 司 書	3	7	5	2
そ の 他 教 職 員	1	0	0	0
担っている人はいない	1	0	0	0

イ 司書教諭もしくは図書館主任が、司書教諭もしくは図書館主任として従事する時間はありましたか。(学校数)

	小学校		中学校	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
十分にあった	1	0	0	0
ある程度はあった	1	5	2	5
あまりなかった	3	4	4	1
全くなかった	4	1	0	0

ウ 司書教諭もしくは図書館主任は、図書館に関する研修に参加していましたか。(学校数)

	小学校		中学校	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
参加した	8	9	4	6
参加しなかった	2	1	2	0

エ 児童生徒への読書指導や、学校図書館の利活用等に関する教職員向けの研修を実施しましたか。(学校数)

	小学校		中学校	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
実施した	2	4	3	4
特段実施していない	8	6	3	2

図書館利用計画等を実施するにあたって、全ての小中学校において、司書教諭・図書館主任・学校司書がリーダー的役割を担っていました。中でも図書館主任と学校司書がリーダー的役割を担っていたことが多い傾向にありました。司書教諭もしくは図書館主任として従事する時間は、「あまりなかった/全くなかった」と否定的に答えた学校は若

干ではありますが減少し、図書館に関する研修にも参加できていたようです。「学級担任と兼務していることから限られた時間を工面し、図書館司書と連携し対応している」等、学校現場においては工夫しながら対応しており、引き続き、従事する時間が確保できる環境づくりが重要です。

また、学校図書館の館長は学校長として位置づけられているので、管理職の積極的な関わりを持つことが望まれます。読書指導や学校図書館の利活用等に関する教職員向けの研修を実施している学校は若干ながらも増えており、今後も継続的な研修参加が必要です。

④ 児童生徒の読書推進に関して、糸満市教育委員会に要望することはありますか。
(複数回答可)

小学校(大度分校含む)

(学校数)

①学校図書館図書購入費の増額	8
②子どもの読書推進について保護者に理解促進を図る ・学校だけでなく、家庭・地域、社会全体で取り組むことが必要	3
③中央図書館との連携強化 ・地域の図書館利用へつなぐためにも、中央図書館との連携・協働が必要 ・移動図書館くろしお号の巡回(興味・関心が高くなり、読書に親しむ児童・保護者が増える)、授業参観日での巡回	3
④読書や読み聞かせ、学校図書館活用等に関する研修実施	3
⑤その他 ・学校図書館の機能と役割について理解できている司書の配置 ・学校規模に応じた図書室の広さの確保 ・ネット環境の充実(貸出システムが入力できない場合がある)	4
⑥特になし	2

中学校(大度分校含む)

(学校数)

①学校図書館図書購入費の増額	3
②子どもの読書推進について保護者に理解促進を図る	1
③中央図書館との連携強化	0
④読書や読み聞かせ、学校図書館活用等に関する研修実施	0
⑤その他 ・備品購入予算(本棚や学習テーブル等) ・ネット環境の改善(貸出・返却作業がスムーズにいかない) ・視覚の面から理解に繋げるために、授業で活用する電子黒板(図書室常設用)	4
⑥特になし	0

⑤ 児童生徒のうち、読書に特別な支援を要する児童生徒への読書推進に関して、糸満市教育委員会に要望することがありますか。(複数回答可)

小学校(大度分校含む)

(学校数)

・オーディオブック/電子書籍/朗読CD・DVD/拡大絵本/ルビ付き絵本/触感のある絵本の整備	6
・中央図書館職員を派遣し、図書館司書による「ブックトークの実施」	
・代読(対面朗読)、出張貸出、多言語による読み聞かせ	

中学校(大度分校含む)

(学校数)

・生徒・職員の読書意欲を高めるための研修や講演会を各学校で開催	3
・電子図書(自身のタブレットで閲覧可能なもの)の導入	

児童生徒や職員の読書意欲を高めるための研修や講演会、学校図書館活用等に関する研修等の要望があります。中央図書館及び各学校司書等が連携し、率先した活動が望まれます。他にも、貸出や返却作業に支障を来すことからネット環境の改善や、電子書籍等の整備の要望等があります。財政的な支援の声もあり、関係部署も含めた図書整備への財源確保に努めることが望まれます。

ボランティア人材にも限りがあることから、各学校独自での取り組みも望まれます。講座開催の周知も含めて、市で行っているイベント(絵本のひろば&子どもげきじょう等)についても、学校のメーリングリストやSNS等を活用して新たな周知活動が必要と思われます。学校等においても保護者まで伝わるよう周知の徹底をする必要があります。また、移動図書館くろしお号の巡回箇所には限りがあることから、効果的なステーションの選定を引き続き検討していく考えです。他にも、絵本等の確保が困難との意見を踏まえ、現在実施している小中学校、こども園、放課後児童クラブ等を対象として、寄贈された絵本や児童書を譲渡するブックリサイクルを継続して行っています。

【課題】

- ① 学校図書館図書の出版年経過による情報の陳腐化が進んでいることから、図書購入費の増額が必要です。
- ② 読み聞かせボランティアについて、より多くの学校で実施できる仕組みづくりが必要ですが、それぞれの学校における自主的な取組も望まれます。
- ③ 講座やイベント等の周知方法の強化が必要です。
- ④ 団体貸出やブックリサイクルを含めた、中央図書館との連携強化が必要です。
- ⑤ 移動図書館くろしお号の効果的なステーション配置は継続して必要です。

- ⑥ 糸満市電子図書館は導入されていますが、児童生徒へ殆ど周知されていません。小中学校のタブレット等に対し電子図書ID・パスワードを発行することで電子図書の利用可能性があることから、学校教育課と連携した取り組みが必要です。
- ⑦ ネット環境と十分な広さの学校図書館の充実が望まれています。

(3) 児童センター・放課後児童クラブ

児童センター及び放課後児童クラブについては、令和6年10月に糸満市教育委員会で行った児童センター・放課後児童クラブにおける「子どもの読書活動推進に関する調査」を参考として、読書の現状と課題を見ていきます。

《回答率》

(施設数)

種別	児童センター		放課後児童クラブ		全 体	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
全 体	2	2	18	21	20	23
回 答	2	2	13	21	15	23
回答率	100%	100%	72%	100%	75%	100%

① 児童書(絵本含む)の整備状況について教えてください。

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	令和 5 年度	H31 年度	令和 5 年度
1,000 冊以上	1	1	1	0
501~999 冊	0	1	2	2
101~500 冊	1	0	7	10
100 冊以下	0	0	3	9
計	2/2	2/2	13/18	21/21

② 児童書(絵本含む)の状態について教えてください。

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
新 しい 絵 本 が 多 い	0	0	2	3
古い絵本や修繕をした絵本が多少ある	1	0	4	8
古い絵本や修繕をした絵本が多い	1	2	7	10
計	2/2	2/2	13/18	21/21

③ 児童書(絵本含む)の貸出を行っていましたか。

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
は い	1	1	1	1
い い え	1	1	12	20
計	2/2	2/2	13/18	21/21

ア また、どれくらいの方が利用していましたか。(複数回答可)

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
保 護 者	—	0	—	1～3 割(1)
児 童	1～3 割(1)	1～3 割(1)	1～3 割(1)	1～3 割(1)

児童センター、放課後児童クラブとも、児童書(絵本含む)の貸出はほとんど行われていませんでした。不特定多数の児童が利用する施設でもあり、貸出を管理するのは困難という意見があります。

④ 読み聞かせの状況について教えてください。

(施設数)

ア 読み聞かせをしていましたか。

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
は い	2	1	11	14
い い え	0	1	2	7
計	2/2	2/2	13/18	21/21

イ また、どのくらいの頻度で行っていましたか。

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
毎 日	0	0	1	3
週に複数回	0	0	4	3
週に 1 回	0	0	2	4
月に数回	1	0	4	4
そ の 他	1	1	0	0

ウ 誰が読み聞かせをしていましたか。(複数回答可)

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
職 員	1	1	11	14
ボ ラ ン テ ィ ア	0	0	1	0
そ の 他	2	1	4	0

児童センターでは来館者が未就学児の場合等、必要に応じて職員などが読み聞かせをしているとのことです。全ての放課後児童クラブで職員による読み聞かせが行われていましたが、ボランティア等による読み聞かせは行われていないようです。

⑤ 保護者に対して、以下の取組を行っていましたか (複数回答可)。

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
読み聞かせに関する 研 修 会 等 の 実 施	—	0	—	0
園だより等に絵本の 紹介や読み聞かせの 大切さ等を盛り込む	—	1	—	1
そ の 他 取 組	—	0	—	0
特 段 行 っ て い な い	—	1	—	20

教育・保育施設等とは異なり、保護者に対しての取組は特段行っていないようです。読み聞かせや読書の大切さを説明するリーフレットの配布等、関係課連携して周知活動が必要です。

⑥ 中央図書館と以下の連携を行っていましたか。(複数回答可)

(施設数)

	児童センター		放課後児童クラブ	
	H31 年度	R5 年度	H31 年度	R5 年度
団 体 貸 出	0	0	6	7
そ の 他 連 係	1	0	0	3
特 段 行 っ て い な い	1	2	7	11

放課後児童クラブの一部では、団体貸出や夏休みにおける利用によって、本に親しむ時間を設けているようです。しかし、児童センターを含めて殆どの施設においては、中央図書館との連携は特段行われていません。子ども達が放課後の居場所として利用する施設でもあり、中央図書館と他にも連携ができないか、模索が必要と思われます。

- ⑦ 利用児童への読み聞かせの環境がさらに良くなるために、糸満市に要望することはありますか。（複数回答可）

児童センター

①財政的支援 ・図書費の予算化／学習ができる書籍の充実／朗読CD、オーディオブックの収蔵
②人的支援 ・図書室の環境の整備 ・管理ができる専門職の配置(母親クラブ、ボランティアの手伝いで図書整理)

放課後児童クラブ

①ボランティア等 ・読み聞かせをしてくれる方が施設へきて欲しい。
②研修等の支援 ・職員に対して、読み聞かせの研修や読み聞かせの必要性の研修の実施。
③その他 ・絵本棚が不足しており、まずは施設として何ができるのかを考えることが先決なので、施設としての取組を考えていきたい。

児童センターや放課後児童クラブにおいても、図書購入の予算化や、職員に対する読み聞かせ研修等の要望があり、さらなる支援の拡充を求められています。これらの要望については、所管課とも共有し、講座やイベント等については SNS 等を活用して新たな周知活動が必要と思われます。また、移動図書館くろしお号の巡回の要望は多くありますが、巡回箇所には限りがあることから、効果的なステーションの選定を引き続き検討していく考えです。他にも、早急な財政的な支援の実現は見込めませんが、中央図書館における団体貸出等の既存サービスのさらなる活用が望まれます。絵本等の確保が困難との意見を踏まえ、現在実施している小中学校、こども園、放課後児童クラブ等を対象として、寄贈された絵本や児童書を譲渡するブックリサイクルを継続して行っています。

【課題】

- ① 絵本の整備状況を改善するためにも、所管課、関係課において、絵本の購入財源確保の検討が必要です。
- ② 子ども達が放課後の居場所として利用する施設でもあり、読書に親しめる場を設けることが望まれます。
- ③ 保護者に対し、子どもへの読み聞かせがいかに効果的かを周知することが必要です。
- ④ 読み聞かせボランティアについて、より多くの施設で実施できる仕組みづくりが必要ですが、それぞれの施設における自主的な取組も望まれます。
- ⑤ 講座やイベント等の周知方法の強化が必要です。
- ⑥ 団体貸出やブックリサイクルを含めた、中央図書館との連携強化が必要です。
- ⑦ 移動図書館くろしお号の効果的なステーション配置は継続して必要です。

(4)中央図書館

中央図書館については、国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画⁹⁾」で図書館に関して記載のある項目について、糸満市における現状と課題を示します。

① 図書館における読書を支援する取組

ア 図書館等の整備

平成 9 年に中央図書館が開館し移動図書館とともに図書館サービスを提供、市民の方々に利用されていますが、施設の老朽化や閉架書庫書架の収容率が増加し、資料の長期的な保存が困難となっています。また、I C タグ等の設備が整っていないため、業務の効率化が図れていません。

イ 移動図書館の活用

市内の巡回ステーションを 25 か所設置し、図書館に直接来館が困難な利用者に対するサービスを行っています。市内の学校へは 9 か所巡回（高嶺小・米須小・大度分校・喜屋武小・兼城小・真壁小・潮平小・西崎特別支援学校・西崎中）、児童センターへは 1 か所（がじゅまる児童センター）に巡回しています。学校への巡回希望は多いですが、未対応の状況です。

ウ 情報化の推進

インターネット用の端末 1 台、オンライン閲覧目録（OPAC）3 台を導入済みです。Wi-Fi への要望はありますが未導入の状況です。

⁹⁾ 詳細は以下の URL からご覧ください。(https://kodomodokusyo.go.jp/happyyou/hourei.html)

エ 子どもの利用のためのスペース等の配置

児童コーナーを正面玄関横手に配置しています。読み聞かせやおはなし会に利用する「おはなしのへや」、子どもの背丈にあった書架やテーブル・椅子、ベビーカー型カート、ベビーベット（オムツ交換用）を置いています。専用の授乳室がないため、対面朗読室を授乳室の代わり使用しています。また、中高生向けのスペースとして「YA（ヤングアダルト）コーナー」を配置し、学習や軽読書・文学作品を中心とした資料を収集しています。将来の進路に役立つ専用コーナー「YA ハローワーク（職業に関する本）」を設け、情報を提供しています。

オ 障害のある子どものための諸条件の整備・充実

児童向け点字資料（触れる本）やLLブック¹⁰、朗読CD、バリアフリー対応の映像資料を積極的に収集していますが、これらの資料は出版点数がまだ少ないため、収集に苦勞しています。また、指差しボード等の設置をしています。令和3年度よりサピエ¹¹を導入、令和4年度より拡大や読み上げ機能をもつ電子図書を導入し、引き続きハンディキャップを持つ児童生徒への資料充実に図ります。

カ 運営状況に関する評価等の実施

教育施策事務点検等による評価や図書館協議会委員による図書館運営に対する助言を受け、サービスの向上に努めています。

キ 図書館資料の整備・提供

調べ学習に役立つ資料、子どもたちが興味関心を持つ資料の積極的な収集を行っていますが、市内小中学校16校すべての学習に対応できる資料の確保が困難です。また子ども向けの地域資料は出版点数が少なく、収集に苦慮している現状があります。今後も市民の生涯学習センターとして機能するために、一定の資料費の確保が必要です。また、令和4年3月に電子図書館を開始。Wi-Fiや各種データベース等の需要がありますが、未導入の状況です。

¹⁰ 「LL」とはスウェーデン語の「Lättläst（分かりやすく読みやすい）」の略で、「LLブック」とは、読むことに困難を伴いがちな青年や成人を対象に、生活年齢に合った内容を、分かりやすく読みやすい形で提供すべく書かれた本のことです。

¹¹ 視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々に対して点字データ、デジータデータ等を提供するネットワークのことです。日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っています。正式名称は「視覚障害者情報総合ネットワーク」です。

ク 子どもや保護者を対象とした取組の企画・実施

毎月定例のおはなし会や赤ちゃんおはなし会を実施し、乳幼児からの読書に親しむ環境づくりを行っています。R6年9月から毎週木曜日に赤ちゃんタイムを開始し、それに伴い子育て応援コーナーを設置しました。また、子どもたちが本に関する興味関心を持つよう、常に季節や行事に合わせた特集・展示や壁面装飾等を行っています。

ケ 読書活動に関する情報提供

児童コーナーに読み聞かせに関する資料を配架し、大型絵本や読み聞かせ専門誌の購入等、家庭や学校での読み聞かせ活動のサポートを行っています。また、赤ちゃんおはなし会を開催する際に子育て支援活動を行うNPOと連携し、乳幼児への読み聞かせ方、絵本の選び方等の情報提供を行っています。そして、X(旧Twitter)を利用し、図書館のアカウントでおはなし会等の図書館イベント情報を発信しています。

② 連携・協力

ア 学校図書館等との連携・協力

調べ学習での資料提供、団体貸出、移動図書館車による本の配送を行っています。移動図書館車による図書の配送は、現在巡回中の学校に限定され、すべての市内学校へは対応できていない現状があります。また、学校司書及び司書教諭との交流がありません。そして、学校と公共図書館のシステムの連携がなく、相互の蔵書の把握や相互利用はありません。

イ ボランティア活動の促進

おはなし会や特別おはなし会等のイベントで読み聞かせボランティアと連携し事業を実施しています。また、年に1回、読み聞かせボランティア団体と図書館職員が交流を持ち、読み聞かせや児童書に関する情報交換を行っています。

(5)生涯学習課

家庭教育はすべての教育の出発点であり、子どもの基本的生活習慣や情操を育むうえで、重要な役割を担うものです。生涯学習課においては、乳幼児期からの家庭における読書習慣の定着を図るための施策をはじめとして、成長過程に応じた切れ目のない支援を図り、市民と一体的な読書活動の推進に努めます。

① 生涯学習課における読書を支援する取組

ア ブックスタート及びセカンドブック

ブックスタートは平成23年度から生後3～5か月の乳児健康診査時に、セカンドブックは令和6年度から1歳6か月児健康診査時に、ブックスタート推進員による読み聞かせ体験を行い、絵本を1冊プレゼントしています。健診を終えた親子に対して、ブックスタート推進員が事業の概要や絵本を通した赤ちゃんとのふれあい方を説明しています。事業の実施にはかせない推進員ですが、より多くの推進員を養成する必要がある、その確保が課題となっています。

イ 絵本のひろば

子どもの読書活動推進に取り組む関係者が集い、交流連帯を広げ深める場として「絵本のひろば」を実施しています。多くの大人と子どもが参加することで、子どもの本や読書活動の楽しさ、大切さを理解してもらう契機としています。絵本作家等による読書関係の講演、ボランティアによる読み聞かせの部屋、小中学生による読書標語、学校長・図書館司書等による“オススメの本”の紹介等多彩な催しを実施します。あらゆる層の来場を喚起するために、SNS等を活用してさらなる周知が必要です。

ウ 平和祈念読み聞かせ会

糸満市は沖縄戦終焉の地として、慰霊の日前に行われる平和祈念祭等の平和に関する催し物を開催することで、平和の尊さを市内外に発信しています。その中で、糸満市教育委員会では、読書活動を推進し、読み聞かせを通し平和の尊さや命の大切さについて考えるものとして、平和祈念読み聞かせ会を実施しております。慰霊の日の前に実施しておりますが、沖縄戦や平和を題材にした絵本や物語の読み聞かせや朗読等を行います。市内小中学生、高校生、読み聞かせボランティアの皆さま等のご協力をいただいております。絵本のひろば同様、あらゆる層の来場を喚起するために、SNS等を活用してさらなる周知が必要です。

エ 読書活動推進講座等の充実とボランティアの育成

ブックスタート及びセカンドブックの運営のための推進員養成講座や読み聞かせボランティア講座のほか、お父さんのための読み聞かせ講座等を実施しております。多様な人材によるボランティアの拡充が求められています。